

②市内企業と連携した取組の共同発表

8月5日に、市と市内に事業所を持つ10社で、「女性が働きやすい職場環境づくり」の実現に向けて、目指す姿を共有し、連携して取り組むことを共同発表しました。今後は、具体的な連携事業の実施による取組の充実を進めるとともに、賛同企業の輪を市内全域に広がっていきます。

参加企業

スズキ株式会社、矢崎部品株式会社、小糸製作所株式会社、TDK株式会社、株式会社伊藤園、ミクニパーテック株式会社、東洋製罐株式会社、NOK株式会社、第一化成株式会社、TOA株式会社

目指す姿

- 若者が結婚、妊娠、子育てなどのライフデザインを描く。
- 子育てと仕事などの両立できる働き方を実現する。
- ライフステージに合わせて働き続けられる職場環境をつくる。
- 働く環境を良くして企業の採用を円滑にし、離職を抑制する。
- 住みたい、働きたいと思える地域づくりを実現する。

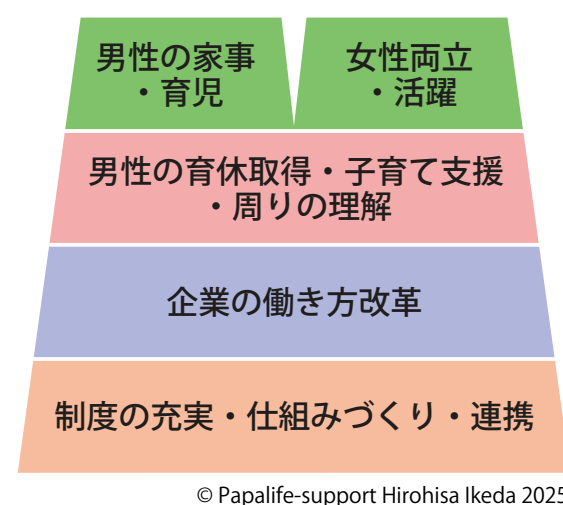


③各企業の代表や担当者による研修会

取組のキックオフ研修として、8月5日にNPO法人ファザーリング・ジャパン副代表理事の池田浩久さんを講師に迎え、「男性の家事育児参画と企業内父親支援」について講演をいただきました。池田さんからは、「男性の家事・育児への参加、女性の家庭と仕事の両立・活躍は、制度の充実や働き方改革、周囲の理解などの土台が必要」（右図）と話していただきました。また、参加企業からは、「この会を情報共有の場として、今後も皆さんとともに勉強していきたい」という感想を聞くことができました。



〔男性の家事育児参画と企業内父親支援(図)〕



© Papalife-support Hirohisa Ikeda 2025

現在、市保健師による健康づくりやプレコンセプションケアの出前講座などを通じて、理解を深めるとともに、研修会や担当者会議の意見を基に取組の具体化を進めています。取組に関心がある企業などは、企画政策課までお問い合わせください。

女性が働きやすい 職場環境づくりを推進



市では、第3次総合計画の重点戦略・プロジェクトの一つである「日本一女性にやさしいまちの推進」の実現に向けて、「女性が働きやすい職場環境づくり」を推進しています。

問い合わせ 企画政策課 大石 ☎030045

本取組の歩み

本市は、製造業の企業や研究拠点が集積し、多くの働き場が確保されていることが強みですが、毎年実施している市民意識調査では、日本人の若者女性の流出に係る課題として「仕事に関する取組の充実」が上位となっており、女性が働きやすい環境づくりに取り組むことが求められていました。

課題解決に向け、令和5年度から6年度にかけて、市内の大手企業との意見交換会を行い、制度面の充実だけでなくさまざまな職場環境の改善に向け、以下の3点を柱に行政と企業が連携して取り組むこととしました。

取組の3つの柱

- ①市内企業の取組内容の共有、先進的な取組や国などの認定の紹介
- ②男性の育児参加、子育てなどで休暇を取りやすい職場環境づくりの推進
- ③プレコンセプションケア（妊娠前の健康、適切な時期の妊娠など）の周知啓発、連携した推進を通じて仕事や結婚を含めたライフデザインの作成を促進

応募

令和7年3月31日、
国が進める
「地域働き方・職場改革」
全国68の
取組参加自治体の
うちの一つに認定

令和7年度の取組

①市内企業担当者と今後の方向性を検討

取組内容の具体化に向けて担当者による検討を進めています。

テーマ1 各企業で課題に感じていること

女性管理職の
ロールモデル（手本）
がない

人手不足により
休暇が取りにくい



男性の家事育児
が増えても、
女性の負担が
減っていない

担当部署だけでなく、
職員全体の認識不足

テーマ2 あったらいいな、こんな制度 今後の取組に望むこと

上司や父親向け
の研修

育休復帰後の
支援の充実



職場内で母親や
妊婦の交流や
悩み相談

市による
健康・出産など
の出前講座